

「平成28年度全国学力・学習状況調査」における結果の考察と取り組み

木曽岬町教育委員会

この調査は小学校6年生・中学校3年生を対象に学力または学校生活や家庭生活の様子を把握し、今後の学習や生活の改善に必要な取り組みを検証していくために毎年実施されているものです。

1 学力調査結果に対する考察

実施教科 小学校：国語（A問題・B問題）、算数（A問題・B問題）

中学校：国語（A問題・B問題）、数学（A問題・B問題）

A問題・・・主として「知識」に関する問題（身につけておくべき基礎的な知識や技術）

B問題・・・主として「活用」に関する問題（知識や技術を実生活の場に活用する能力）

☆全国平均と比較した木曽岬町の状況について

小学校

中学校

国語・・・全国平均並みです。

算数・・・全国平均より上回っています。

国語・・・全国平均より上回っています。

数学・・・全国平均より上回っています。

〈○成果〉

【A問題】国語、算数・数学において小中学校ともに正答率が高く、基礎的な知識や技能が身についています。

- ・小学校国語Aでは、漢字の読み書き・書くことを選択する問題において全国平均と比較して特に高い正答率となっています。
- ・小学校算数Aでは、四則計算（+ - × ÷）の計算問題において全国平均と比較して高い正答率となっており、問題を正確に解く力が身についています。
- ・中学校国語Aでは、（登場人物の心情）や（文章の構成）などについて適切な解答を選択する「読む」能力に関する問題において全国平均と比較して高い正答率となっています。
- ・中学校数学Aでは、文字と式・方程式・図形の問題などすべての領域の問題において全国平均と比較して高い正答率となっています。

【B問題】課題は見られるものの「協同的な学習」の取組や「書く」活動を充実させる取組の成果が表れています。特に算数・数学では数学的に考える力がついてきています。

【A・B共通】 無解答率は、小中学校ともに全国よりも低く、自分でしっかりと考えられる力がついてきています。

〈▲課題〉

【A問題】中学校国語「伝統的な言語文化と国語の特質」の領域に課題が見られました。敬語や慣用句など伝統的な言語に親しむ取組をさらに進めていく必要があります。

【B問題】小学校国語「書くこと」の問題に課題がみられました。条件に合わせた自分の考えを的確に記述する取組を今後も進めていく必要があります。

〈○成果が見られた問題の一例〉

【中学校数学 B 2 (2)】

- 2** 桃香さんと拓真さんは、お互いに数学の問題を出し合いながら勉強しています。



桃香さんが作った間置

x の値に対応する y の値は、次の表のようになります。
このとき、 $x = 4$ のときの y の値を求めなさい。

x	...	2	3	4	...
y	...	18	12		...

- (2) 桃香さんと拓真さんは、桃香さんが作った問題について話し合っています。

拓真さん「僕は、一次関数と考えてこの問題を解いたよ。」
桃香さん「私は、一次関数とは別の関数で考えて、 $x = 4$ のとき $y = 9$ になるようにするつもりだったんだよ。」
拓真さん「それなら、問題の最初に x と y の間の関係を書き加える必要があるね。」

桃香さんが作った問題の最初に、 x と y の間の関係を書き加えます。 $x = 4$ のとき $y = 9$ になるように、 x と y の間の関係を書き加えることについて、正しいものを下のア、イの中から 1 つ選び、それが正しいことの理由を説明しなさい。

ア 「 y は x に比例しています。」を書き加えれば、
 $x = 4$ のとき $y = 9$ になる。

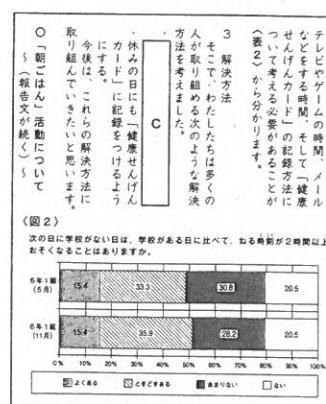
イ 「 y は x に反比例しています。」を書き加えれば、
 $x = 4$ のとき $y = 9$ になる。

〈▲課題が見られた問題の一例〉

【小学校国語B 2 (2)】

(2) うござります。○(中) の中に、入る内容を、次の条件に合わせて書かれよ。

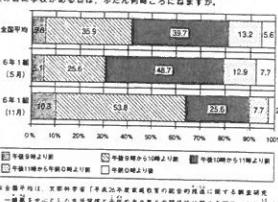
○(表2)の結果から考えて書きこと。
○「テレビやゲーム」と「メールなど」の両方の言葉を使って書きこと。
○五十字以内にまとめて書きこと。
●筆の「紙」は下記を用いなさい。
●印字機を用いたり、手書きでなくしてかまいませんが、解答は、解説用紙に書きなさい。
●(2) うござります。○(中) の中に、入る内容を、次の条件に合わせて書かれよ。



2
課題
成果があつた一方、生活のリズムを保つていう点で、
今回の活動では改善できず、これから解決していく
い課題があることが分かりました。
課題は(図2)から分かるように、

「アーチェリー競技の結果、これまでの半年間の活動がどうなったか」といふことが分りません。(図1)のように、活動を始めた前の五月の時点で、多くの人の割合が全国平均を上回り、早わがでさっている人は、いませんねる人の割合が今まで半年の活動後には、夜までいる人の割合がそのまま十分にとるために、夜十時までにはましまど。という保健室の先生のおかげがみんなの心に残ったようですね。また、毎日体を動かすように、体育がない日には、外遊びで運動や、「健康せんせんカラード」に早く起きができたかを記録する活動を行つたところもあげられます。

〈図1〉



ナガハラ・朝日奈さんとの折衷は、健衆活動のために「早起組き道はん」運動に取組んでいます。高野さんが書いている【報告文の一部】です。これによく読んで、あとの問い合わせに答えましょう。

他の問題等については国立教育政策研究所のホームページをご覧ください

☆今後、継続して取り組んでいくこと☆

- ・自分の考えを持ったり友だちと意見を交流したりする共同的な学習の取組を進めるとともに「書く」力を育てるために自分の考えを記述する取組の充実に努めます。
 - ・少人数授業・授業改善・個に応じた補充学習等を推進して一人一人の学力保障に努めます。
 - ・研修の充実を図り、教員一人一人の授業力の向上をさらに進めます。
 - ・電子黒板など教材・教具の充実を図り、子どもたちの学習環境整備に努めます。

2 学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）に対する考察

(1) 生活状況や学習状況について子どもたちが回答した85項目の中で、全国平均と比較して木曽岬町の子どもたちが学習面や生活面において、良い傾向にある項目を紹介します。

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ○難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。 ○自分には、よいところがあると思う。 ○将来の夢や目標を持っている。 ○家の手伝いをしている。 ○学校のきまりを守っている。 ○人が困っているときは、進んで助けている。 ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 ○人の役に立つ人間になりたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をする。 ○家で、自分で計画を立てて勉強をしている。 ○家で、学校の宿題をしている。 ○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。 ○今、住んでいる地域の行事に参加している。 ○1・2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う。

(2) 85項目の中で三重県・三重県教育委員会が取り組んでいる「みえの学力向上県民運動」に係る質問項目において木曽岬町の子どもたちの学習習慣や生活習慣の状況をお知らせします。

(肯定的な回答の全国平均(%)と木曽岬町の子どもたちの状況を比較しました)

- ◎・・・全国より良いもの(5ポイント以上) ○・・・全国よりやや良いもの(1~5ポイント)
・・・全国平均と比較して同じ程度のもの(±1ポイント以内)
・・・全国よりやや良くないもの(1~5ポイント) △△・・・全国より良くないもの(5ポイント以上)

	項目	小学校		中学校	
		全国(%)	木曽岬町	全国(%)	木曽岬町
1	子どもたちの基本的生活習慣の状況	朝食を毎日食べている	95.5	○	93.3
		毎日、同じくらいの時刻に寝ている	80.1	◎	75.2
		毎日、同じくらいの時刻に起きている	90.8	○	92.3
2	子どもたちの自尊感情の状況	物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある	94.4	□	94.3
		難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する	76.1	◎	69.6
		「自分には、よいところがある」と思う	76.3	◎	69.3
3	将来の夢や目標を持っている		85.3	◎	71.1
4	平日のテレビ、ゲーム等の使用	平日のテレビ等の視聴が3時間以上	67.1	◎	75.7
		平日のテレビゲーム等の使用が3時間以上	84.1	▲	81.1
5	平日のスマホ、メール、インターネットの使用が3時間以上		94.2	▲	83.1
6	平日の学習時間が1時間以上		62.5	▲	67.9
7	休みの日の学習時間が1時間以上		57.0	▲▲	67.8
8	授業時間以外に読書をするのが10分以上		63.5	▲▲	49.7

9	家の人と学校での出来事について話をする	79.2	○	74.1	◎
10	家の手伝いをする	82.8	◎	67.2	◎
11	家で、自分で計画を立てて勉強している	62.6	◎	48.4	◎
12	家で、学校の授業の復習をしている	55.2	◎	51.0	◎
13	学校に行くのは楽しい	86.3	◎	81.4	○
14	先生はあなたによいところを認めてくれていると思う	82.6	◎	78.0	◎
15	先生は間違えたところや理解していないところを分かるまで教えてくれる	84.8	◎	74.1	◎
16	地域行事への参加している	67.9	◎	45.2	◎
17	地域や社会で起こっている問題に関心がある	70.6	◎	65.8	○
18	地域社会などでボランティア活動に参加したことがある	36.2	◎	70.2	○
19 規範意識の状況	子どもたちの 学校のきまりを守っている	91.5	◎	94.7	□
	いじめは、どんな理由があってもいけない	96.6	○	93.6	▲
	人の役に立つ人間になりたい	93.8	○	92.8	□
20	授業では学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習に取り組んでいる	75.7	◎	69.3	◎
21	授業の中で目標（めあて、ねらい）が示されている	87.6	◎	84.9	▲
22	授業の最後に学習内容を振り返る活動がよく行っている	76.1	◎	63.1	□
23	国語の授業の内容はよくわかる	80.7	◎	74.1	▲
24	算数（数学）の授業の内容はよくわかる	80.2	◎	69.4	◎
25 将来役に立つと思う	「総合的な学習の時間」の学習は生活や社会で役に立つ	83.2	○	68.3	◎
	「国語」の学習は生活や社会で役に立つ	89.2	◎	84.6	▲
	「算数・数学」の学習は生活や社会で役に立つ	89.9	○	71.5	▲

全国平均を上回る◎がたくさん見られるものの、小学校では1日のゲーム、スマートフォン・メール・インターネット使用時間が3時間以上の子どもの割合が全国平均より高いことや、それに伴い平日・休日の学習時間の割合が全国平均より低く、読書時間の割合も全国平均より低いという結果でした。

中学校では「物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある」や「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する」といった子どもたちの自尊感情の状況に関する項目や、「いじめは、どんな理由があってもいけない」などの子どもたちの規範意識の状況に関する項目に課題が見られます。上記の25項目の他に「新聞をあまり読まない」「読書を好まない」子どもの割合が全国平均より高いという課題もみられました。

☆今後、継続して取り組んでいくこと☆

- ・子どもたちの読書環境を整備（学校図書館の充実・読書時間の確保・新図書館への利活の促進等）し、学校・家庭における読書活動を進めます。
- ・学級満足度調査など客観的な資料をもとに子どもをていねいに見守り、よりよい学級集団づくりに取り組みます。
- ・「子育て8つの指針」の啓発を継続し、学校や保護者・地域の皆さんと協働した子育ての推進を図ります。

3 学校質問紙結果に対する考察

(1) 学校の取組状況における 100 項目の中から木曽岬小・中学校において「よくあてはまる」と教員が回答している項目の一部について紹介します。(調査対象学年の児童生徒に関する質問)

小学校	中学校
(児童について) ○児童は、熱意をもって勉強している。	(生徒について) ○生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う。
○児童は、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	○生徒は、礼儀正しい。
(取組について) ○児童一人一人のよい点や可能性を見付け、児童に伝えるなど積極的に評価している。	(取組について) ○生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めている。

(2) 三重県・三重県教育委員会が取り組んでいる「みえの学力向上県民運動」に係る質問項目における木曽岬小・中学校教員の意識や実践についてお知らせします。

(全国の学校平均(%)と木曽岬小・中学校教員の回答状況を比較し、木曽岬町においてあてはまるものを「○」で表しています。

項目	小学校		中学校	
	全国(%)	木曽岬町	全国(%)	木曽岬町
1 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れる	98.8	○	97.8	○
2 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れる	94.9	○	93.0	○
3 一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、児童生徒に伝えるなど積極的に評価する	98.4	○	97.4	○
4 全国学力・学習状況調査等の結果を教育活動の改善に活用	97.0	○	95.5	○
5 地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った	82.4	○	65.1	○
6 校長の授業の見回り(週に2日以上)	94.2	○	82.6	○

☆今後、継続して取り組んでいくこと☆

- ・学校と町教育委員会とで状況を共有しながら、よりよい授業づくりについて研究を推進していきます。